

教育研究データ			
1. 氏名	小田 典子		
2. 生年月	1958年12月		
3. 取得学位	医学博士		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2010年	①疾患による臓器，組織の変化を画像で提示し講義内容の理解に役立てている。	
	2010年	②单元ごとにミニテストを実施し，重要項目の把握，学習習慣の確立に役立てている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表，講演等			
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
①臨床栄養学 疾病編 嶋津孝・下田妙子編 17.2 クリティカルケア(p.254-259)	分担	2004年	化学同人
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号，頁
① 後腹膜を原発とし Embryonal carcinoma と Yolk sac tumor の混在した組織型を呈した腫瘍の一例	共著	1987年	『癌の臨床』33(3)，311-316
②Cytophotometric analysis on nuclear DNA contents of human scirrhous gastric carcinoma	共著	1989年	Pathology Research and Practice 184, 390-401
③肝動脈内抗癌剤注入後に発生した胃の異型上皮	共著	1989年	『広島医学』42(2)，198-200
④ DNA ploidy pattern and amplification of <i>ERBB</i> and <i>ERBB2</i> genes in human gastric carcinomas	共著	1990年	Virchows Archiv B [Cell Pathology] 58, 273-277
⑤Ossifying fibromyxoid tumor of soft	共著	1993年	Jpn J. Clin. Oncol. 23, 64-68

parts: A case report		
(3) 研究・作品発表	発表の年月	発表学会等
①パラフィン切片を用いた胃癌 DNA ploidy pattern のフローサイトメトリーによる解析	1989年10月	第48回日本癌学会
②ヒト胃癌における胃癌 DNA ploidy pattern と <i>ERBB</i> および <i>ERBB2</i> 遺伝子の増幅	1990年3月	第79回日本病理学会
(4) 所属学会		
①日本病理学会		
②日本癌学会		